

くらしを守る災害時の駅・鉄道の工夫

滋賀大学
教育学部
附属小学校
5年
野嶋晏和

Q1 どうして調べたいと思ったか
滋賀県では、南海トラフ巨大地震
震が近々起きると予想されていま
す。私は毎日登下校時に京阪電車
石坂線を利用してゐるため、利用中
に地震が起きる可能性もないとは
いえません。なので、その場合どうす
ればよいのか、駅や鉄道にどんな工夫
がされているのか、知りたいと思っ
たからです。

Q2 調べ方
十日ほど前に電話で質問したい
事があると伝え、日を決めて時間
をとっていただき、京阪電車石坂線
の砂原さんにインタビューしました。
インターネットで調べました。
→砂原さんにインタビュー！

A1 砂原さん、地震が起きた時は、
車内が一番安全な場所なんです。
なので、車内にいてもらう事が
大切です。そしてパニックになら
ずに乗務員の指示にしたがって

Q2 もらいたいです。電車には、非常用
バッテリーがついているので電気
もすぐには消えないんですよ。
災害が起きた時のために駅には
何か工夫がされているのですか？

A2 砂原さん、二階に駅がある浜大
津駅は耐震補強工事を行いました
た。京阪石山駅もきれいな駅です
が、同じく耐震補強工事を行いました
災害が
起きた
時のた
めに鉄
道に何
が工夫
がされ
ている
のです
か？



A3 砂原さん、京阪電車の線路はカ
ブが多いので、脱線しないように、
内側にもう一本レールがつけられて
います。

！知ってびっくりポイント！
その一、早期地震警報システム
地震が来るのが分かる。
↓安全につながる？
その二、社員安否確認システム
災害時に社員に社員の家
族の安否確認のメールが送られ
る。↓電車の再開が早くなる？

→まとめ
私は、駅・鉄道は災害を想定して、利
用客の安全を守る工夫をしていると
思いました。そして、阪神淡路大震災
の前はシステムが一部の線だけだっ
りしたけど、その後はシステムを全線に入れた
り、新しいシステムを導入したり、経験を教
訓にして、利用客の安全を会社全体で守る
うと努力している所がすごいと思いました。

